

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4718687号
(P4718687)

(45) 発行日 平成23年7月6日(2011.7.6)

(24) 登録日 平成23年4月8日(2011.4.8)

(51) Int. Cl.		F I		
G06Q 10/00	(2006.01)	G06F 17/60	162C	
G06Q 30/00	(2006.01)	G06F 17/60	164	
		G06F 17/60	316	

請求項の数 21 (全 27 頁)

(21) 出願番号	特願2000-607125 (P2000-607125)	(73) 特許権者	501369798
(86) (22) 出願日	平成12年1月26日 (2000.1.26)		トラス ゲゼルシャフト ミット ベシ
(65) 公表番号	特表2004-507799 (P2004-507799A)		ュレンクテル ハフツング
(43) 公表日	平成16年3月11日 (2004.3.11)		ドイツ国 D-70184 スタットガル
(86) 国際出願番号	PCT/EP2000/000595		ト ハックランダーストラッセ 17
(87) 国際公開番号	W02000/057320	(74) 代理人	100078765
(87) 国際公開日	平成12年9月28日 (2000.9.28)		弁理士 波多野 久
審査請求日	平成18年11月8日 (2006.11.8)	(74) 代理人	100078802
(31) 優先権主張番号	60/125,078		弁理士 関口 俊三
(32) 優先日	平成11年3月19日 (1999.3.19)	(72) 発明者	クニプハウゼン, イコ
(33) 優先権主張国	米国 (US)		アメリカ合衆国 バージニア州 2231
(31) 優先権主張番号	09/303,499		4 アレキサンドリア サウス コロンブ
(32) 優先日	平成11年4月30日 (1999.4.30)		ス ストリート 113
(33) 優先権主張国	米国 (US)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ワークフロー管理システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータ及びデータベース、並びに、発注者側に設置され前記コンピュータとネットワークを介して接続される第1のリモートコンピュータ及び翻訳者側に設置され前記コンピュータと前記ネットワークを介して接続される第2のリモートコンピュータを具備するワークフロー管理システムを用いた言語翻訳プロジェクトのワークフロー管理方法において、

少なくとも翻訳言語が特定された翻訳要求と翻訳前の文書とを、前記コンピュータが、前記第1のリモートコンピュータから受信し、

前記翻訳要求及び前記翻訳前文書を受信したとき、前記コンピュータが、前記データベースに保存されている過去の言語翻訳プロジェクトにおける翻訳結果を参照し、前記翻訳結果のうち今回の言語翻訳プロジェクトで再利用することができる翻訳量を示す前翻訳情報を決定し、

前記コンピュータが、決定された前記前翻訳情報と共に前記翻訳要求を、少なくとも前記第2のリモートコンピュータからアクセス可能に公開し、

前記コンピュータが、前記第2のリモートコンピュータから送信された入札情報に基づいて当該言語翻訳プロジェクトの担当翻訳者を決定し、

前記担当翻訳者による翻訳が完了すると、前記コンピュータが、前記第2のリモートコンピュータから翻訳後の文書を受信し、

前記コンピュータが、前記翻訳後の文書を受信したことを前記第1のリモートコンピュ

10

20

ータに通知する、
ステップを備えたことを特徴とするワークフロー管理方法。

【請求項 2】

前記コンピュータが、前記データベースに保存されている当該言語翻訳プロジェクトで
再利用可能な前記過去の翻訳結果を前記第 2 のリモートコンピュータに使用させる、
ステップをさらに備えたことを特徴とする請求項 1 に記載のワークフロー管理方法。

【請求項 3】

前記コンピュータが、前記データベースのメモリにアクセスさせることによって前記過
去の翻訳結果を前記第 2 のリモートコンピュータに使用させる、
請求項 2 に記載のワークフロー管理方法。

10

【請求項 4】

前記コンピュータが、前記過去の翻訳結果が利用されたとき、その過去の翻訳の原翻訳
者を追跡する、
ステップをさらに備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のワークフ
ロー管理方法。

【請求項 5】

前記コンピュータが、追跡された前記原翻訳者に前記過去の翻訳の使用料を配分する、
ステップをさらに備えたことを特徴とする請求項 4 に記載のワークフロー管理方法。

【請求項 6】

前記コンピュータ及び前記データベースは、前記第 1 及び第 2 のリモートコンピュータ
と離隔した場所に設置される情報センタに配設される、
ことと特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載のワークフロー管理方法。

20

【請求項 7】

コンピュータ及びデータベース、並びに、発注者側に設置され前記コンピュータとネッ
トワークを介して接続される第 1 のリモートコンピュータ及び翻訳者側に設置され前記コ
ンピュータと前記ネットワークを介して接続される第 2 のリモートコンピュータを具備し
、言語翻訳プロジェクトを管理するワークフロー管理システムにおいて、
前記コンピュータによって実行されるプロジェクト調整モジュールと、
前記コンピュータによって実行されるプロジェクト実行モジュールと、
を備え、

30

前記プロジェクト調整モジュールは、

少なくとも翻訳言語が特定された翻訳要求と翻訳前の文書とを、前記第 1 のリモート
コンピュータから受信し、

前記プロジェクト実行モジュールは、

前記プロジェクト調整モジュールが前記翻訳要求及び前記翻訳前文書を受信すると、
前記データベースに保存されている過去の言語翻訳プロジェクトにおける翻訳結果を参照
し、前記翻訳結果のうち今回の言語翻訳プロジェクトで再利用することができる翻訳量
を示す前翻訳情報を決定し、

前記プロジェクト調整モジュールは、

決定された前記前翻訳情報と共に前記翻訳要求を、少なくとも前記第 2 のリモートコ
ンピュータからアクセス可能に公開し、

40

前記第 2 のリモートコンピュータから送信された入札情報に基づいて当該言語翻訳プ
ロジェクトの担当翻訳者を決定し、

前記担当翻訳者による翻訳が完了した後に前記第 2 のリモートコンピュータから送ら
れてくる翻訳後の文書を受信し、

前記翻訳後の文書を受信したことを前記第 1 のリモートコンピュータに通知する、
ことを特徴とするワークフロー管理システム。

【請求項 8】

前記プロジェクト実行モジュールは、前記データベースに保存されている当該言語翻訳
プロジェクトで再利用可能な前記過去の翻訳結果を前記第 2 のリモートコンピュータに使

50

用させる、

ことを特徴とする請求項 7 に記載のワークフロー管理システム。

【請求項 9】

前記プロジェクト実行モジュールは、前記データベースのメモリにアクセスさせること
によって前記過去の翻訳結果を前記第 2 のリモートコンピュータに使用させる、

ことを特徴とする請求項 8 に記載のワークフロー管理システム。

【請求項 10】

前記コンピュータによって実行され、前記過去の翻訳結果が利用されたとき、その過去の
翻訳の原翻訳者を追跡する追跡モジュール、

をさらに備えたことを特徴とする請求項 7 乃至 9 のいずれかに記載のワークフロー管理シ
ステム。

10

【請求項 11】

前記追跡モジュールは、追跡された前記原翻訳者に前記過去の翻訳の使用料を配分する
、

ことを特徴とする請求項 10 に記載のワークフロー管理システム。

【請求項 12】

前記コンピュータによって実行され、少なくとも前記発注者及び前記翻訳者の一方を登
録する登録モジュール、

をさらに備えたことを特徴とする請求項 7 乃至 11 のいずれかに記載のワークフロー管理
システム。

20

【請求項 13】

前記登録モジュールは、前記第 1 のリモートコンピュータに発注者登録用のテンプレ
ートを送信し、前記第 1 のリモートコンピュータから前記テンプレートに入力された発注者
登録情報を登録する、

ことを特徴とする請求項 12 に記載のワークフロー管理システム。

【請求項 14】

前記コンピュータによって実行され、前記発注者の身元を確認する発注者確認モジュ
ール、をさらに備え、

前記と登録モジュールは、前記発注者確認モジュールによって身元が確認された後に、
前記発注者情報を登録する、

ことを特徴とする請求項 12 または 13 に記載のワークフロー管理システム。

30

【請求項 15】

前記コンピュータによって実行され、前記発注者の支払い能力を確認するファイナンシ
ャルモジュール、をさらに備え、

前記と登録モジュールは、前記ファイナンシャルモジュールによって前記発注者の支払
い能力が確認された後に、前記発注者情報を登録する、

ことを特徴とする請求項 12 乃至 14 のいずれかに記載のワークフロー管理システム。

【請求項 16】

前記登録モジュールは、前記第 2 のリモートコンピュータに翻訳者登録用のテンプレ
ートを送信し、前記第 2 のリモートコンピュータから前記テンプレートに入力された翻訳者
情報を登録する、

ことを特徴とする請求項 12 乃至 15 のいずれかに記載のワークフロー管理システム。

40

【請求項 17】

前記コンピュータによって実行され、前記翻訳者の少なくとも資格を含む信用を確認す
る信用確認モジュール、をさらに備え、

前記信用確認モジュールは、前記翻訳者の信用を前記データベースに保存し、前記第 1
のリモートコンピュータによって前記発注者に提供する、

ことを特徴とする請求項 12 乃至 16 のいずれかに記載のワークフロー管理システム。

【請求項 18】

前記ファイナンスモジュールは、前記翻訳者の支払い口座を金融機関に開設し、

50

前記登録モジュールは、前記ファイナンシャルモジュールによって前記翻訳者の支払い口座が開設された後に、前記翻訳者情報を登録する、
ことを特徴とする請求項 15 乃至 17 のいずれかに記載のワークフロー管理システム。

【請求項 19】

前記コンピュータによって実行され、入札プロセスを実行する入札モジュール、
をさらに備えたことを特徴とする請求項 7 乃至 18 のいずれかに記載のワークフロー管理システム。

【請求項 20】

前記入札モジュールは、翻訳言語、単語の総数、入札終了日、納期、落札基準を含む見積もり依頼に関する情報を、前記翻訳者側にある前記第 2 のリモートコンピュータに提供する、
ことを特徴とする請求項 19 に記載のワークフロー管理システム。

10

【請求項 21】

前記見積もり依頼に関する情報は、再利用可能な翻訳単位の量、及び新しい翻訳を必要とする翻訳単位の量をさらに含む、
ことを特徴とする請求項 20 に記載のワークフロー管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

本願は、この出願に組み入れた 1999 年 3 月 19 日に出願された米国特許仮出願第 60 / 125, 078 号の利益を請求するものである。

20

【0002】

本願は、一部継続出願であり、この出願に組み入れた 1999 年 4 月 30 日に出願された米国特許出願第 09 / 303, 499 号の利益を主張するものである。

【0003】

[発明の背景]

本願の主題は、同時継続出願でありこの出願に参照として組み入れられた、1998 年 5 月 4 日に発明の名称が機械補助型翻訳ツールである米国特許出願第 09 / 071, 900 号の主題に関する。

【0004】

[発明の属する技術分野]

本発明は、ネットワークベースのワークフロー管理システムに関し、特に、ネットワーク上での事業の割当ておよび遂行を調整するのに適したシステムに関する。

30

【0005】

[関連技術の説明]

外部委託は、今日のビジネス環境において最も流行しているものの 1 つである。ほぼすべての会社は仕事の一部を外部委託している。例えば、未収金の回収、守衛機能および給与支払機能は頻繁に外部委託され、この数十年でそれらの機能を行う受け入れ方法となった。コンピュータサービス、利益管理、電話を使った顧客サポートおよび記録管理などの他の機能は、さらに定期的に外部委託されている。一部企業はいくつかの機能を外部委託のみにしており、それら機能がさらに広く外部委託されるまでにはまだ何年もかかるであろう。このような機能には、エンジニアリング、財務分析、文書翻訳および文書管理が含まれる。

40

【0006】

組織の多くは、外部委託に取引費用（処理費用）を低減する効果があれば、プロジェクト、仕事、機能を外部委託することは有利であることを理解している。

【0007】

ダーウィン及びムイ両氏の Unleashing the Killer App Digital Strategies for Market Dominance, Harvard Business School 出版、米国マサチューセッツ州ボストン、1998 年。

50

【 0 0 0 8 】

したがって、プロジェクトを外部委託しようとする組織は、プロジェクトの見積りまたは価格を得るために1社以上のサービス・プロバイダに見積り依頼を出す。一旦、サービス・プロバイダがプロジェクトを完了するための見積り価格を含む提案を返すと、組織はサービスに対する見積り価格を評価し、プロジェクトを実行するために見積り依頼を選定する。どのサービス・プロバイダを選択するかを決定するために、組織はサービス・プロバイダの料金、能力および評判などの種々の判定基準を使用することができる。通常、サービス・プロバイダ間の競争によって、組織に対する最終コストは低減される。しかし、このシステムには作業成果物を電子的に送信する機構または完了したプロジェクトまたは完了したプロジェクトの一部を次のプロジェクトのために保管しリソースとして使用する機構がない。

10

【 0 0 0 9 】

同様の理由で、コンピュータ、建設契約または道路メンテナンス装置などの製品またはサービスを購入するために、政府または地方自治体は契約入札を使用してきた。契約入札とは、ある場合には入札における競争によって処理費用を低減するかもしれないプロセスである。概して、契約入札プロセスは外部委託に類似している。例えば、付け値が集められ、次に評価され、サービス・プロバイダが選定される。また、このシステムには、作業成果物を電子的に送信する機構または完了したプロジェクトまたは完了したプロジェクトの一部を次のプロジェクトのために保管しリソースとして使用する機構がない。

【 0 0 1 0 】

請負を外部委託するか契約の締結を入札に出す組織を突き止めるために、特別な努力が請負業者により行われている。ビッドネット (B i d N e t) などのオンラインサービスは、プロジェクトの入札を望んでいる種々の組織に関する情報を収集することができる。通常、オンラインサービスは政府および地方自治体、病院、大学などの異なる機関から入札要求情報を収集し、このオンラインサービスはこの情報を資格のある請負業者に提供する。例えば、一旦、請負業者が上記オンラインサービスに登録し、このオンラインサービスで請負業者によって提供される商品またはサービスに関連する機関の入札要求を受け取れる。オンラインサービスは入札を出した機関、付け値を提出の最終受付日などの入札情報を含む概要を作成し、そこで製品および/またはサービスが配達・遂行される必要があり、また機関は特別な仕様を要求することもできる。したがって、請負業者が契約入札に参加するかどうかを決定するのを支援するために、上記概要は請負業者に郵送される。このシステムには請負業者が必要とする最小限の努力で可能な契約を請負業者に通知するという利点があるが、完全な電子的ワークフロー管理システムを提供することはないという欠点がある。また、オンラインサービスは、既に完了済みの作業を再利用するのが可能にしない。さらに、このシステムは作業成果物を電子的に送信できない。

20

30

【 0 0 1 1 】

別の入札および販売方法として競売が挙げられる。競売は財産を売買するのに人気があり面白い市場を提供する。一般の個人の多くは、売り出し中の商品に入札をかけるために直接競売に参加することを義務付けられているために利用を拒否される。この資格は、競売場所の近くに住んでいる人々またはその競売場所まで出向く時間と費用の余裕のある人々に競売への参加を制限している。

40

【 0 0 1 2 】

実際に競売場所に居る必要性をなくして、競売への入札参加資格を得るという問題を解決するために、多くの試みがなされてきた。例えば、1988年12月6日に藤崎氏に授受された米国特許第4,789,928号明細書は、広範な場所に散らばっている個人がオンライン・オークションに参加することを可能にする競売情報処理システムを提案している。このシステムは、通信回線を介して個人入札者の多数の遠隔端末に接続されたホストコンピュータを備える。個人入札者はそれぞれの自分の遠隔端末から入札に参加し、現在の付け値の最高価格および最終落札レートがリアルタイムで遠隔端末に表示される。このシステムには多数の個人入札者をオンライン・オークションに参加させることができると

50

いう利点があるが、電子的ワークフロー管理を提供することができないという欠点がある。また、電子的に製品の配達を行うことはできない。

【0013】

また別のコンピュータ化された入札システムが1990年2月20日にワグナー（Wagner）氏に授受された米国特許第4,903,201号明細書に開示されている。ワグナー氏は、特定の商品契約を獲得する入札またはその売買申し込みは交換機コンピュータに接続された遠隔端末を介して行われる自動化された先物取引交換機を提案している。この交換機コンピュータは、商取引を完了するために売り出し価格と入札価格をマッチさせる。このシステムは電子的に製品の配達を行うことはできない。

【0014】

また、競争入札手順を実行する別のシステムが、1993年9月7日にリー（Lee）氏に授受された米国特許第5,243,525号明細書に開示されている。リー氏は、特定の建設事業のために建設下請業者が請負業者に付け値を提出することができる安全なテレプロセッシング入札システムを解説している。下請業者は普通の電話を使用して中央入札コンピュータに接続して、付け値を入れる。中央入札コンピュータは入札終了時に受理したすべての付け値の概略報告書を印刷し、その概略報告書はすべての入札参加者に郵送されるかファックス送信される。以前の入札システムと同様にこのシステムには、作業成果物の電子的送信を可能にする機構または完了済みのプロジェクトを保管して次のプロジェクトのリソースとして使用する機構がない。

【0015】

前述したオンライン・オークションの加えて、現在ではインターネットを使ったオンライン・オークションが行われている。このオークションの1つにこのオークションの1つにセーブ・ザ・アース・ファンデーション（Save the Earth Foundation）があり、ワールドワイドウェブ・サイト http://www.commerce.com/save_earth に解説されているアートロック・オークション（Artrock Auction）を有する。オークションに参加するために、入札者はインターネットを介して登録を行い付け値を提出する。入札者が付けた価格よりも高い付け値が商品に付けられると、電子メールによって入札者に通知される。また入札終了時には、落札者は電子メールを使って連絡される。アートロック・オークションには製品の電子的配達を行う機能はない。

【0016】

同様に、イー・ベイ（Ebay）はワールドワイドウェブ・サイト <http://www.ebay.com> で解説しているようにオンライン・オークションを開設している。このオークションシステムでも、入札者はインターネットを介して登録を行い付け値を提出する。各商品の入札情報に加えて、販売商品が入札者の画面に画像として表示される。しかし残念ながら前述のオンライン・オークションと同じく、イー・ベイ・オークションには製品の電子的配達を行う機能はない。

【0017】

同様に、クリスティーズ・インターナショナルはワールドワイドウェブ・サイト <http://www.christies.com> にオンライン・オークションを記載している。クリスティーズのオークションでは、入札者はイー・ベイと同様の方法で登録を行い付け値を提出する。また、クリスティーズのオンライン・オークションには製品を電子的に配達することはできないという点で、イー・ベイ・オークションと同じ不利がある。

【0018】

[発明の概要]

本発明の目的は、管理された契約入札、電子的製品配達、支払および仲裁のための市場を提供することにある。

【0019】

本発明の別の目的は、発注者とオペレータがワークフロー管理情報センターにアクセスできるようにすることにある。本発明のさらなる目的は、Hyper Text Mark

10

20

30

40

50

up Language (HTML)などの標準化されたインタフェース・フォーマットを用いてインターネットを介してそのようなアクセスを提供することにある。

【0020】

本発明の別の目的は、ユーザが電子フォームに情報を入力することによって情報センターのデータベースにアクセスできるようにすることである。

【0021】

本発明の別の目的は、電子商取引 (E-Commerce) 技術を利用して完全なワークフロー管理システムを提供することにある。

【0022】

本発明の別の目的は、利用可能なプロジェクトを保存し、「リアルタイム」の生の入札環境を備えるシステムを提供することにある。

10

【0023】

本発明の別の目的は、利用可能なプロジェクトに対応する写真、画像および/またはビデオを見ることができるようプロジェクトの情報の概要と結びつけることを可能にすることにある。

【0024】

本発明の別の目的は、装置発注者およびオペレータの必要性のみがネットワーク・アクセスとの通信装置であるシステムを提供することにある。

【0025】

本発明の別の目的は、作業の予備的処理能力をワークフロー管理システムに統合することによってプロジェクトの完了に必要な努力を低減することにある。

20

【0026】

本発明の別の目的は、翻訳者がソースとなる情報を目的の情報に翻訳することを要求される努力を既に翻訳された作業を再翻訳する必要性をなくすことによって低減することにある。

【0027】

本発明の別の目的は、紙を必要としないワークフロー管理システムを提供することにある。

【0028】

本発明の別の目的は、データおよび測定単位などの置き換え可能なものを目的のテキストに挿入するために自動的に変換することによって、ソース・テキストを翻訳するのに必要となる時間および努力を低減することにある。

30

【0029】

本発明の別の目的は、置き換え可能な要素があれば、測定単位、データフォーマット、通貨貨幣および単位、タイトル、ならびに名前などを変換することによって、適切な場合には自動的に目的のフォーマットに変換することにある。

【0030】

本発明の別の目的は、ソースとなる情報を翻訳する場合、1回または複数回のキー入力したり、または1回または複数回の口頭による命令があったり、マウスをクリックする等のユーザからのやり取りがあり次第、目的のテキストのユーザが定めた位置に翻訳単位を半自動的に挿入することにある。

40

【0031】

本発明の別の目的は、異なる対象に対して翻訳メモリまたはミニ翻訳メモリを提供することにある。

【0032】

本発明の別の目的は、発注者のプロジェクトとオペレータとを他に負けない低価格でマッチさせることにある。

【0033】

本発明によれば、実行される作業が電子的情報の操作および送信である入札およびワークフローを管理するシステムによって上記目的は達成される。このシステムは言語またはそ

50

の他の翻訳、文書編集、図形、設計ソフトウェアおよびさらにデータ処理などの元の作業者の作品の作成に対する契約に関するワークフロー管理に特に適している。

【0034】

上記目的は、ワークフロー管理を提供する情報センターによって達成可能である。したがって、情報センターはユーザ（発注者および/またはオペレータ）から情報をインターネット上で受け取ることができるソフトウェア・コンポーネントを有するコンピュータを備えていてもよい。また、情報センターは登録情報、プロジェクトに対する要求および入札、プロジェクト情報およびユーザのアカウントに信用貸付または貸方勘定を行う認証を受け取ることができる。

【0035】

本ワークフロー管理システムの特徴によれば、情報センターはサービス（発注者）およびサービス・プロバイダ（オペレータ）の外部委託を要求する組織を引き合わせるように提供されることも可能である。この情報センターは、見積り要求（RFP）を収集して委託を行い、発注者の要件を満たすオペレータに入札案内を送り、契約が委託された旨の通知を送り、外部委託を行った会社から支払金を回収してサービス・プロバイダに支配を行うことによって、契約の入札および落札を管理する。

【0036】

本発明の特徴によれば、情報センターは、作業成果物と共にプロジェクトに関する主題/発注者に関する情報を電子的にオペレータに提供する。さらに、完成済みの作業成果物を電子的に発注者まで返送することも可能である。

【0037】

本発明の特徴によれば、情報センターは、実行される翻訳を収集する翻訳データベースである専門化された翻訳メモリをソース言語相当語句と共に組み込むために設けられてもよい。翻訳が実行され翻訳メモリに保存された後、この翻訳メモリは新たな翻訳と共に翻訳者を支援するためにアクセスされることも可能であり、この新たな翻訳は、翻訳メモリに含まれたソース言語相当語句として同一または類似のソース言語テキストを含んでいる。発注者が翻訳を必要とする文書を有している場合、このシステムは翻訳メモリを用いて文書のどの部分が前翻訳（pre-translation）できるかどうかを最初にチェックする。したがって、発注者およびオペレータは前翻訳情報を使って受託可能な見積り価格を決定することができる。換言すれば、本システムにより人間である翻訳者は文書中の新規な部分のみを翻訳し、新しい情報のみを翻訳するコストを査定することができる。

【0038】

本発明の特徴によれば、情報センターは、翻訳者があるソース文章と対である文章ペア、次に目的言語の対応する翻訳などの新しい翻訳単位または翻訳セグメントを作成した時に追跡を行うデータベースを維持することができ、翻訳者はこの文章ペアを情報センターに返送し、そこで本システムは翻訳者の名前またはユーザIDと共にこのペアを翻訳メモリに保存する。別の翻訳者がこの翻訳単位を再利用する場合、元の翻訳者は自身の作業に対する支払いを受け取る。また、翻訳文を他の翻訳者と共有する動機を提供するために、翻訳者は翻訳単位の使用料を得ることもできる。

【0039】

本発明によれば、翻訳プロジェクトのためのコンピュータ入札プロセスを管理し、翻訳者に翻訳プロジェクトを落札し、完成済みの翻訳を発注者に電子的に送信するワークフロー管理システムが提供される。

【0040】

ワークフロー管理システムには、アクションがソフトウェア・コンポーネントによって指示される少なくとも1個のプロジェクト調整コンピュータ・モジュールと、アクションがソフトウェア・コンポーネントによって指示され、かつ前記少なくとも1個のプロジェクト調整コンピュータ・モジュールにリンクされた実行コンピュータ・モジュールとが設けられてもよい。また、このワークフロー管理システムには少なくとも1個の実行コンピュータ・モジュールが設けられてもよい。

10

20

30

40

50

【 0 0 4 1 】

また、上記コンピュータ・モジュールのソフトウェア・コンポーネントは、ワークフロー管理システムおよび作業成果物送信システムとして同時に動作する。

【 0 0 4 2 】

これらシステムは、以下に明らかとなる他の目的および利点と共に、本請求の範囲の一部を成す添付の図面を参照して、構成および作用の詳細に説明する。同一の符号は同一の要素を表す。

【 0 0 4 3 】

[好ましい実施形態の詳細な説明]

図 1 は、ワークフロー管理システムを実施する情報センター (clearinghouse) を示している。この情報センターには、買い手 (発注者) および売り手 (オペレータ) が入力インタフェース 105 および入力インタフェース 107、すなわちコンピュータ、無線電話または有線 (landline) 電話、テレビ、または携帯情報端末などを使用してアクセスできるデータベースなどの少なくとも 1 台の電子的保存装置と、ネットワーク・コネクション 103A およびネットワーク・コネクション 103B を備えるコンピュータ 101 であってよい。図 1 は、2 つの別のネットワークによって接続された入力装置 105 および入力装置 107 を示しているが、単独また一体型のネットワークが実施されてもよい。好適には、情報は、HTML 形式、電子メール、ファクスなどの方法によって、ネットワーク上でオペレータと発注者と情報センターとの間で電子的に交換されることができる。したがって、この情報センターは、ユーザ ID、パスワード、プロジェクトの説明、最高入札価格、付け値、契約情報、支払情報、プロジェクトの基準などの情報をオペレータおよび発注者から要求および/または収集するために電子フォームを使用してもよく、ここでプロジェクトとは、例えば翻訳要求であり、プロジェクトの基準には対象言語、ソース言語、テキストが属する主題または範疇、プロジェクトの納期、およびプロジェクトの落札方法である。実際、電子フォームは、情報センターにあるコンピュータ・モジュールまたは情報センターから離れているコンピュータ・モジュールからユーザの通信装置にダウンロードが可能であるか、あるいはそれに代わって、電子フォームはインターネット上で直接記入することができる。また、情報センターは、オペレータおよび/または発注者が本来電話を介したコンピュータ・ネットワーク上で調和するようにフォーマットされた情報にアクセスできる音声アクセスおよび変換システムを提供することも可能である。さらに、データの完全性を審査するためにファイアウォールが情報センターに設けられてもよい。

【 0 0 4 4 】

情報センターには、プロジェクト調整、登録、財務チェック、信用チェックおよび照合チェック、プロジェクト実行、ロイヤルティ追跡、入札管理などのワークフロー管理業務を遂行するために、異なるコンピュータ・モジュールまたはシステムを備えることもできる。好適には、各モジュールまたはシステムは、情報を受け取りモジュールにより要求される業務 (task) を完了するために、アルゴリズムを有するコンピュータ・モジュールであってよい。図 2 は、コンピュータ 18、オンラインフォーム・テンプレート 27、フォーム 32、オプション・データベース 60、ネットワーク・コネクション 24、リモート・コンピュータ 30 およびユーザ 38 (発注者またはオペレータであってよい) などの遠隔地のユーザに接続されている総称的モジュールのコンポーネントを示している。リモート・コンピュータ 30 のユーザ 38 は、コンピュータ 28 にあるオンラインフォーム・テンプレート 27 にアクセスできる。図 2 に示されるように、テンプレート 27 は、リモート・コンピュータ 30 の画面でユーザ 38 に表示されるフォーム 32 を含む。したがって、発注者および/またはオペレータは、電子フォームまたはネットワーク上で情報を収集する周知の方法を使用して情報センターと通信することができる。また上記コンピュータ・モジュールは別々のモジュールであってよいが、このモジュールは単一のユニットを提供するように統合されていてもよい。さらに、このモジュールは、情報センターまたは遠隔地に設けられてもよい統合データベースまたは個別のデータベースに情報を保

10

20

30

40

50

存することも可能である。

【 0 0 4 5 】

本発明の好適な実施形態によれば、プロジェクト調整モジュールは情報センターによって提供されてもよく、この情報センターは、入札要求が受け取られてから完了済みの作業または完了済みの作業成果物が送信されるまでの時間などのプロジェクトの流れを管理する。まず発注者が、プロジェクト調整モジュールまたは情報センターにプロジェクト情報または見積り依頼（RFP）を提出し、オペレータに主題の背景、プロジェクトの説明、外部委託を必要とする業務または機能、オペレータによって入札される特定の仕事、オペレータの能力に対する発注者の期待、および/または付け値を提出する最終期限などの情報を提供する。また図3に示した選択的实施形態においては、発注者は、ファイル名302、ソース言語304およびソース言語330、対象言語306および対象言語332、主題308および主題334、入札対象である個々の翻訳者310および翻訳者336または翻訳者グループ314および翻訳者グループ340のリスト、翻訳者の住所312および翻訳者の住所338などの翻訳プロジェクトについての詳細に関する情報を提出する。したがって、発注者はオンラインのコンピュータ28上の「新しいプロジェクト」HTMLテンプレート27にアクセスすることによってこの情報を提出する。テンプレート27には、リモート・コンピュータ30の画面に表示可能な「新しいプロジェクト要求」フォームを含むことができる。発注者がこのフォームに記入後、その情報は処理のために情報センターに送信され、そこでプロジェクト調整モジュールはこの情報を使用して入札プロセスを実行するか、または入札プロセスを開始するために要求を入札管理モジュールまで送る。

10

20

【 0 0 4 6 】

したがって、本ワークフロー管理システムは、新プロジェクト要求フォームのみを使用して入札プロセスに関するデータを収集してもよく、または本システムは入札プロセスに関するデータを収集するために新プロジェクト要求フォームと作業発注者または作業成果物などの完全なプロジェクトの詳細および要求事項の両方を使用してもよい。したがって、選択的实施形態では、完全なプロジェクトの詳細および要求事項は、入札プロセスにおいて役立つようにテキスト形式または写真、画像および/またはビデオなどの図形形式で、電子的に情報センターまたはプロジェクト調整モジュールに送信（アップロード）される。アップロードされた完全なプロジェクトの詳細および要求事項は、翻訳が必要な文書、特許調査依頼、資料依頼書または特定の話題に関する文書、または写真、図表、あるいは建設現場、製造を必要とする回路などのプロジェクトを描写した概略図といった実際のプロジェクトであってもよい。本発明の任意の実施形態によれば、プロジェクト調整モジュールは、全体として見ることができるか、限られた一部分のみ見るすることができるプロジェクトに関する画像を提供することも可能である。オペレータがプロジェクトに対する見積り価格を決定できるように、プレビュー画像はオペレータに十分な情報を提供することも可能である。

30

【 0 0 4 7 】

発注者の新しいプロジェクトが情報センターに到着したら、完了済みのプロジェクトまたは完了済みのプロジェクトの一部がその新しいプロジェクトに関してリソースとして使用可能かどうかを決定するために、要求は実行データベースをチェックするプロジェクト調整モジュールに送られる。したがって、実行データベースは、新しいプロジェクトにおいて再利用可能な関連するリソースの評価などの実行パラメータをプロジェクト調整モジュールに送信することができ、このモジュールはユーザが見積り価格を交渉できるように実行パラメータをユーザに送信することができる。択一的には、プロジェクト実行モジュールは、実行パラメータを直接ユーザに提供することもできる。プロジェクト実行モジュールおよび実行データベースについて以下で詳細に検討する。

40

【 0 0 4 8 】

所要の実施形態によれば、プロジェクト調整モジュールは入札プロセスを開始するために入札管理モジュールに要求を送ることができる。この入札管理モジュールは、入札プロセ

50

スを完了するためにプロジェクト調整モジュールと協働することができるか、入札管理モジュールは入札プロセス全体を処理することが可能である。例えば、オペレータが既にプロジェクトに選択されていた場合（図20）、入札管理モジュールはプロジェクト調整モジュールに通知することができる。これに加えてあるいは択一的には、入札管理モジュールまたはプロジェクト調整モジュールは、e-mail、電子的ブロードキャスト・メッセージまたはボイスメールなどによって、入札案内および/または入札落札通知をオペレータまたは発注者に送ることができる。図5に示したように、案内および通知は情報センターのウェブサイト520上で提供することが可能である。さらに、入札管理モジュールは発注者を選択するために、オペレータの付け値の選択をプロジェクト調整モジュールに送ることもできる（図21）。入札管理モジュールについては以下で詳細に検討する。

10

【0049】

入札が一旦落札されると、プロジェクト調整モジュールは、完全なプロジェクトおよび/または詳細および要件などの作業発注者を選択オペレータに送信する。そのプロジェクトが完了し、かつそのプロジェクトが役に立つ場合には、選択されたオペレータは完了済みのプロジェクトまたは完了済みの作業成果物をプロジェクト調整モジュールに提出することができる。これらは完全にペーパーレス処理が可能であることは十分認識されるべきであり、作業成果物またはプロジェクトは電子的形式で送信される。好適には、プロジェクト調整モジュールは、支払いに合意する前およびそのプロジェクトを電子的に受け取る（ダウンロードする）前に、オペレータが完了したプロジェクトのプレビューを発注者に提供することができる（図15）。さらに、発注者がそのプロジェクトの品質に満足しない場合、プロジェクト調整モジュールは発注者にそのプロジェクトを拒絶させることが可能であり、また発注者はプロジェクトを修正するように要求することもできる。プロジェクトが拒絶された場合、プロジェクト調整モジュールはそのプロジェクトを修正のために選択されたオペレータに送信することができる。修正が完了すると、プロジェクト調整モジュールは、承認のために、修正されたプロジェクトを発注者に送信することができる。また、プロジェクト調整モジュールは仲裁手段を提供することも可能である。

20

【0050】

本発明の一実施形態によれば、登録モジュールが情報センターによって設けられ、このモジュールは登録者を発注者またはオペレータとして分類することができる。前述したように、発注者および/またはオペレータ登録モジュールは個別のモジュールであってもよいが、単一のまたは統合されたモジュール/システムを設けることも可能である。好適には、この登録システムはユーザ（例えば、発注者および/またはオペレータ）登録を承認するために、アルゴリズムを備えたコンピュータ・モジュールであってもよい。したがって、電子フォームまたはネットワーク上で登録情報を収集する他の周知の方法を用いることによって、ユーザは情報センターに登録を行う。また、登録モジュールは、情報センターまたは離れた場所に設置されてもよい単一の統合データベースまたは個別のデータベースこの情報を保存することもできる。

30

【0051】

図6のチャートを参照すると、オペレータは好適にはネットワーク・コネクションを介して情報センターの登録モジュールにアクセスすることもできる。リモート・コンピュータ30のオペレータ38は、コンピュータ28にある「登録」HTMLテンプレート27にオンラインでアクセスすることができる（602）。図2に示したように、テンプレート27はオペレータ登録フォームを含むこともでき、このフォームはリモート・コンピュータ30の画面上でオペレータ38に表示されてもよい（604）。ここで図7を参照するとオペレータ登録フォームが示されており、オペレータは、組織名702、翻訳者名704および翻訳者名706、住所708、住所710および住所712、e-mailアドレス714、電話番号716、ならびに電子商取引の支払い方法718、ソース言語720およびソース言語732、対象言語722および対象言語734、サブジェクト・エリア724およびサブジェクト・エリア736、住居のある国名726および住居のある国名738などの情報をフォーム（606）に入力することによって情報センターに登録を

40

50

行うことができる。追加的または択一的実施形態においては、オペレータが支払信用状を受け取ることでできる当座預金口座、普通預金口座または他のあらゆる口座番号をフォームに入力することもできる。もちろん、支払い過ぎや作業成果物が拒否されるなど必要な場合には、その明細は借方に記入される。最後に、オペレータは登録ボタン 7 2 8 を使用して情報を情報センターに提出することができる。次に、情報は無線通信回線または陸上通信回線上で送信され、そこでこの情報が情報センターまたは離れた場所に設置されてもよい登録データベースに収集され、保存される。情報が受け取られた後、この情報の一部またはいくつかの部分は、オペレータの能力または実績信用チェック・モジュール 6 1 0 および信用チェック・モジュール 6 2 2 に、および/または支払情報などのファイナンシャル・モジュール 6 1 4 およびファイナンシャル・モジュール 6 2 4 に送信されることが
10

【 0 0 5 2 】

ここで図 8 を参照すると、発注者の登録モジュールのチャートが示されている。発注者はオペレータと同様の方法で情報センターに登録することができる。リモート・コンピュータ 3 0 のオペレータ 3 8 は、コンピュータ 2 8 にある「登録」HTML テンプレート 2 7 にオンラインでアクセスすることができる (8 0 2) 。図に示したように、テンプレート
20

2 7 は発注者登録フォームを含み、このフォームはリモート・コンピュータ 3 0 の画面上で発注者 3 8 に表示されてもよい (8 0 4) 。まず発注者は、組織名 9 0 2 、交渉担当者名 9 0 4 および交渉担当者 9 0 6 、住所 9 0 6 、住所 9 0 8 および住所 9 1 0 、 e - m a i l アドレス 9 1 4 、電話番号 9 1 6 などの情報を発注者登録フォーム (9 0 6) に入力することによって情報センターに登録を行うことができる。発注者は登録ボタン 9 2 8 を使用して、情報を情報センターに提出することができる。次に、情報は無線通信回線または陸上通信回線上で送信され、そこでこの情報が情報センターまたは離れた場所に設置されてもよい登録データベースに収集され、保存される。情報が受け取られた後、この情報の一部またはいくつかの部分は、発注者が要求される身元などの照合モジュール 8 1 0 および照合モジュール 8 2 2 、および/または支払情報などのファイナンシャル・モジュール
30

8 1 4 およびファイナンシャル・モジュール 8 2 4 に送信されることができ。これらのモジュールについては以下で詳細に検討する。発注者には登録が成功したことが e - m a i l 8 2 0 によって即座にまたは後に通知される。本システムは e - m a i l による通知に限定したのではなく、例えば、ボイスメールまたはファクスによる通知であってもよい。また、この通知は直接情報センターのウェブサイトから提供されるか、送信される。

【 0 0 5 3 】

本発明の好適な実施例によれば、ファイナンシャル・モジュールは情報センターによって設けられてもよく、このモジュールは情報センターと電子商取引を処理するために用意された金融機関とをリンクさせることができる。図 1 を参照すると、情報センター 1 0 1 は、無線リンクまたは電話リンクであってもよいネットワーク 1 0 3 を介して金融機関 1 0
40

8 に接続される。好適には、新しい口座を開設するためまたは登録されたユーザの口座にアクセスするために、情報センターは、銀行またはクレジット・ハウス (c r e d i t h o u s e) などの金融機関にアクセスする必要がある。ファイナンシャル・モジュールは、ユーザが情報センターに登録すると、支払口座 (P a y m e n t A c c o u n t) が自動的に金融機関に開設される。登録課程の間に収集されたユーザ名、金融機関口座番号および口座の種類などの情報を金融機関に送信する。択一的には、ユーザは、ファイナンシャル・モジュールを介して電子フォームを用いて情報を提出することによって金融機関に支払講座を開設するか、金融機関に直接支払口座を開設することができる。例えば、図 1 1 は支払口座 (A c c o u n t) 作成フォーム 1 1 3 2 を示している。このフォームには、ユーザ名 4 4 、金融機関口座番号 4 6 および口座の種類に相当する 3 つの領域 5 4
50

がある。この好適な実施形態では、金融機関口座番号46はユーザ38のクレジットカード口座に対応するクレジットカード番号である。択一的実施形態においては、金融機関口座番号46は、ユーザが支払のクレジット/借方を受け取る/送ることができる、当座預金口座、普通預金口座または他のあらゆる口座の番号であってよい。また、フォーム32には、ユーザ38が押すと記入済みのフォーム32をコンピュータ28に送れるようにボタン52を備えている。また、ファイナンシャル・モジュールまたは金融機関は、発注者の支払能力を評価し、情報センターへの発注者のアクセスを承認または拒絶することができる。ファイナンシャル・モジュールまたは金融機関は、口座が開設されたかどうかを示す通知を電子的にユーザに送信することもできる。例えば、ファイナンシャル・モジュールは、口座状況に関するe-mailまたは他の電子的同報メッセージをユーザに送ることができる。もちろん、このモジュールは付加的なオプションを備えることもでき、それによってこのモジュールはメッセージのハード・コピーを生成し、電子的に送料を算出し、伝達のためのメッセージを分類することができる。また、このモジュールによって金融情報が後の日付で更新されることも可能である。一旦、発注者の口座が開設されると、発注者は見積り依頼を情報センターに提出することができる。プロジェクトが完了すると、ファイナンシャル・モジュールは発注者の口座からお金を引き落とすように金融機関に指示する。

【0054】

さらに、ファイナンシャル・モジュールまたは金融機関は、オペレータからオペレータの優先支払方法を受け取ることができる。一旦、オペレータの口座が開設されオペレータがプロジェクトを完了すると、ファイナンシャル・モジュールは交渉価格に相当する金額をオペレータの口座に入金するように金融機関に指示することができる。同様に、ファイナンシャル・モジュールには獲得したロイヤルティをオペレータの口座に入金することもできる。ロイヤルティ情報はロイヤルティ追跡モジュールから受け取ることができる。ロイヤルティ追跡モジュールについては以下で検討する。

【0055】

さらに、ファイナンシャル・モジュールはオペレータの信用履歴を評価かつ/または収集し、以下で詳細に検討する信用チェック・モジュールにこの情報を送信する。したがって、ファイナンシャル・モジュールによって情報センターは新しい口座を認定し、オペレータの信用履歴を確認し、ユーザの支払口座の貸し方に記入/借方に記入するなどお金を移しかえることができる。

【0056】

本発明の一実施形態によれば、オペレータの信用チェック・モジュールは情報センターによって設けられてもよく、このモジュールはオペレータの信用度を確認するか、またはこの情報を発注者に伝えることができる。この情報センターは、能力、オペレータ行ったかもしれない業務に対する他の発注者の評価、および一般的評価などのオペレータに関する他の情報と共に信用データベースを選択的に維持する。登録の間、オペレータの能力は信用チェック・モジュール1202に送信されてもよく、情報はそこで保存される。コンピュータ・モジュールは、オンラインでソースをチェックしてオペレータの能力1204を確認するようにプログラムすることもできる。付加的または択一的には、情報センターはオペレータの能力1210を確定するために独立した調査を行うこともでき、その情報は信用データベースに保存されることもできる。先に述べたように、情報センターまたは信用チェック・モジュールは、電子的評価フォームを発注者に提供することもできる。この情報は信用データベースに収集され、保存される。情報センターによって設けられてもよい別のオプションとして、発注者はこの情報をいつでもプレビューすることができる(1214)。

【0057】

本発明の好適な実施形態によれば、発注者確認モジュールが設けられてもよく、このモジュールは発注者の身元を確認することができる(図14)。この発注者確認モジュールは、本ワークフロー管理システムに付加的な安全性という特徴を供している。

【 0 0 5 8 】

本発明の好適な実施形態によれば、プロジェクト実行モジュールは情報センターによって設けられてもよく、このモジュールは、完了済みのプロジェクトまたは予め完了済みのプロジェクトを次のプロジェクトのリソースとして使用できるように実行データベースに保存することができる。また、情報センターはプロジェクトのリソースを備えた実行データベースをセットアップまたはロードすることができる。好適には、プロジェクト実行モジュールは、完了済みのプロジェクトまたは完了済みのプロジェクトの一部を受け取り、実行データベースにそれらを保存するために、アルゴリズムを備えたコンピュータ・モジュールであってよい。また、アルゴリズムは新しいプロジェクトのどの部分かが前のプロジェクトに関して既に完了されたものかどうかを評価することができる。プロジェクト実行モジュールは実行パラメータをユーザに供給することができる。この実行パラメータは、新しいプロジェクトの「どれぐらいの」部分が実行データベースによって供給されるかを評価したものである。プロジェクト調整モジュールは評価情報または実行パラメータをオペレータおよび/または発注者に提供することができる。

10

【 0 0 5 9 】

プロジェクト調整モジュールがプロジェクト要求を受け取った後、プロジェクト調整モジュールは類似するプロジェクトが実行データベースの保存されているかどうかをプロジェクト実行モジュールに問い合わせる。すなわち、保存されたリソースのいずれかが発注者のプロジェクト要求を満たすために再利用可能かどうかを決定するためにデータベースは問い合わせを受ける。したがって、この情報は入札価格を交渉するのを支援するためにオペレータおよび/または発注者に提供される。

20

【 0 0 6 0 】

例えば、実行データベースに保存されている既に完了済みのプロジェクトまたはリソースが、新たに要求されたプロジェクトに全くマッチしない場合、リサイクル・モジュールはプロジェクト調整モジュールに通知することができ、調整モジュールは入札管理モジュールに発注者のプロジェクト要求のための入札プロセスを開始するように喚起する。一方、新しいプロジェクトが実行データベースに保存されているプロジェクトと一致する場合、情報センターまたはプロジェクト調整モジュールはオペレータの支援を必要とすることなく、プロジェクトを遂行するか、または完了する。このようにして、プロジェクト調整モジュールは発注者に見積り価格を送信することができる。発注者がこの価格に合意すれば、プロジェクトは電子的に送信され、ファイナンシャル・モジュールに関して述べたように発注者の支払勘定は借方に記入されることが可能である。この文書送信処理の詳細については、プロジェクト調整モジュールの解説において検討する。また、プロジェクト実行モジュールはロイヤルティ追跡モジュールに通知を送ることができ、この追跡モジュールはそのオペレータが元のプロジェクトを完了したことを確認する。この処理の詳細については、ロイヤルティ追跡モジュールの解説において詳細に説明する。

30

【 0 0 6 1 】

新しいプロジェクト要求が、リソース、完了済みのプロジェクトまたは実行データベースに保存されたプロジェクトの一部または複数の部分に類似している場合、情報センターは実行パラメータ通知を発注者および/またはオペレータに通知することができ、このパラメータ通知は入札価格を決定する際にプロジェクトの「どれぐらいの部分」がそれらの計画を支援するために再利用できるかどうかを示している。プロジェクト実行モジュールは通知をロイヤルティ追跡モジュールに送り、この追跡モジュールは、例えば、新しいプロジェクトに関して使用される再利用可能な情報の量、再利用される情報を最初に生成したオペレータおよび新しいプロジェクトに関して再利用可能な情報を使用したオペレータなどを確認する。前述のように、この処理の詳細については、ロイヤルティ追跡モジュールの解説において詳細に説明する。

40

【 0 0 6 2 】

別の実施形態では、プロジェクト実行モジュールは翻訳データベースを含むことができる。この実施形態によれば、翻訳が「オンラインで」で実行される場合、または翻訳が完了

50

され提出された後、あるいは翻訳が「オフライン」で実行され終了と同時にアップロードされた場合は、翻訳データベースは翻訳が実行されるのと同時に翻訳文を収集することができる。このような方法で、翻訳データベースは新しい情報を含むために更新される。この翻訳データベースは、プロジェクト文書を入札にかける前に「前翻訳する」ために使用されてもよい。択一的または付加的には、翻訳プロジェクトが翻訳者に割り当てられた後、翻訳者は割り当てられた翻訳の実行とともに自らの作業を支援するために翻訳データベースにアクセスすることができる。翻訳データベースは選択的には、2つ以上の言語の対応する単語または成句から成る翻訳セグメントのペアまたはセットの形式で、翻訳を保存することも可能である。情報センターは翻訳メモリに法律、医学またはビジネスなどの特定の分野または対象に特化した用語を提供することができる。

10

【0063】

別の実施形態によれば、情報センターは翻訳者の翻訳プロジェクトを支援するために翻訳ソフトウェアを提供することができる。このような翻訳ソフトウェアは、既存の翻訳文および専門用語を自動的にデータベースから示すことによって積極的に翻訳プロセスを支援する機械支援型のツールであってよい。商業的に利用できる機械支援型のツールの一例が、TRADOS GmbH（ドイツ）によって供給されるトランスレータズ・ワークベンチ（Translator's Workbench）である。本実施形態の任意の態様によれば、翻訳者は翻訳ソフトウェアおよび翻訳データベースに直接アクセスして「オンライン」で翻訳を実行できるか、翻訳者は翻訳ソフトウェアおよび翻訳データベースの関連のある部分をダウンロードし、「オフライン」で翻訳を実行することができる。したがって、翻訳データベースは任意に、法律、医学およびビジネスなどの対象および/または言語分野に分割することができ、これにより翻訳者は特定の翻訳を行う際に、翻訳データベース全体にアクセスする必要および翻訳データベース全体をダウンロードする必要がない。

20

【0064】

前述の翻訳データベースおよび翻訳メモリの利点は、翻訳者が既に翻訳済みのソース文節を翻訳する必要性を確実にすることによって、それらが翻訳プロセスをより効率的にするということである。翻訳者が作業を行う一方で、翻訳元の文および対応する翻訳文を「学習する」ために、ソフトウェアは翻訳者の裏方として動作する。本プロセスでは、このデータは情報センターの翻訳データベースにアップロードされる。さらにこれと同時に、翻訳ソフトウェアは、迅速に同一または類似する分を見つけ出し、進行中の翻訳に対する作業の基礎としてそれらを自動的に表示するために、翻訳データベースにアクセスを行う。

30

【0065】

翻訳ソフトウェアは、それがまったく同一にマッチする部分を保存された文節から見つけ出すことができるだけでなく、だいたい一致する部分を見つけ出す、すなわち「ファジー」マッチングさせることができる場合にはきわめて有用である。ファジー・マッチングは、単語の順序、形態、状況、またはスペルがわずかに異なるテキストの検索を容易にする。自然言語のテキストは広範に渡っているため、近似的にマッチさせることが必要である。類似する内容を持つ文章を探し出すファジー・マッチングは、ニュートラル・ネットワーク・テクノロジーの実施によって完成された。翻訳者は、翻訳メモリによって自動的に示された翻訳文に加えて、選択可能な翻訳文から選択することができる。ソース文章およびその翻訳に加えて、各翻訳分節には、ユーザ、使用した日付および頻度、分類属性およびテキスト分野に関する情報を含むこともできる。この情報によって翻訳データベースのメンテナンスは容易になり、データベースは時間が経てば自然と大きくなる。

40

【0066】

本発明の好適な実施例によれば、ロイヤルティ追跡モジュールは情報センターによって設けられてもよく、プロジェクトを遂行するためにオペレータの作業が再利用された場合、このモジュールは追跡または監視を行う。前述したように、プロジェクト実行モジュールはロイヤルティ追跡モジュールに通知を送り、この追跡モジュールは、例えば、新しいプロジェクトに関して使用される再利用可能な情報の量、再利用される情報を最初に生成し

50

たオペレータおよび新しいプロジェクトに関して再利用可能な情報を使用したオペレータなどを確認する。これはオペレータのユーザIDを完了済みのプロジェクトと関連付けることによって達成される。再利用される情報の作成者は、その情報の使用に対して支払いまたはロイヤルティを得ることができる。このような方法で、翻訳分節の後からの使用が追跡される。この追跡は翻訳単位を生成したオペレータにロイヤルティの貸方の記入を配分するために使用される。したがって、再利用される翻訳単位の作成者は翻訳単位の使用に対して支払いまたはロイヤルティを得ることができる。

【0067】

本発明の好適な実施形態によれば、入札管理モジュールは情報センターによって設けられ、このモジュールは入札プロセスを実行および監視する。また、このモジュールは資格のある入札有資格者のデータベースを維持し、資格を有するオペレータを確認して入札の要求を通知し、オペレータから付け値を受け取り、発注者の基準に基づいて落札価格を決定する。

10

【0068】

入札管理モジュールは、プロジェクト調整モジュール、または直接発注者のいずれかから、発注者の入札要求に関する情報を受け取ることができる。好適には、この管理モジュールは、発注者および/またはオペレータの入札情報を受け取るように適合されたアルゴリズムを備えたコンピュータであってよい。また、入札管理モジュールは、入札価格を決定するために計算を実行することができる。図3に示したように、発注者は、新しいプロジェクト要求フォームを介して、最高価格318および最高価格342、入札者の最高#310および入札者の最高#342、落札方法322および落札方法346（すなわち、自動的、手動的、またはそれらの組み合わせ）、入札日322および入札日348、入札の優先326および入札の優先350（例えば、裁量価格、最短納期日）などの、どのようにプロジェクトを落札するかに関する情報を入札管理モジュールに提出することができる。入札管理モジュールはこれらの基準に限定される必要はなく、落札価格を決定するために他の制限事項を用いてもよい。

20

【0069】

さらに、図13に示したように、入札管理モジュールは入札案内を制限するために、限られたグループの入札者に発注者に関する特徴を提供することができる。発注者は翻訳者を個々で選択できるか、ソースおよび対象言語、プロジェクトの主題、オペレータの能力などの異なる基準によって限定された翻訳者を選択することができる。入札管理モジュールは、前述のように電子フォームによって提出された基準を受け取ることができる。入札管理モジュールは、入札有資格者のグループを決定することができる。入札管理モジュールは、入札者の資格を確認するためにチェック信用モジュールに送ることができる。

30

【0070】

一旦、有資格オペレータのグループが決定されたら、入札管理モジュールは電子的通知によって有資格オペレータに通知することもでき、または入札要求は情報センターのウェブサイトに表示される。図5を参照すると、情報センターは、オペレータにオペレータの現在の状態に関する情報を提供することができる。例えば、現在の入札案内数または新しく落札されたプロジェクトの数である。

40

【0071】

入札管理モジュールは、ファイル名またはプロジェクトID、ソース言語、対象言語、主題、単語の総数、翻訳単位の総数、再利用可能な翻訳単位の数、新しい単語の数、入札終了日、納期、最高価格、落札基準、落札決定、落札の最大数、状況、最高付け値などの見積り依頼に関する情報をオペレータに提供することができる（図4（A）および図19）。入札管理モジュールは、図4（C）に示したように処理履歴を提供することができる。オペレータは、この情報をすべて検討し、電子フォームを使って付け値を提出することができる。入札管理モジュールは、付け値を受け取り、図4（B）の入札プレビュー情報フォームを更新する。入札管理モジュールは、入札を落札してオペレータかつ/または通知することができる。

50

【 0 0 7 2 】

本発明の一実施形態によれば、情報センターは翻訳者（オペレータ）および文書の翻訳を必要としている組織（発注者）を管理するために使用される。国際企業が新しい国の市場に参入し、新しい市場のために製品またはサービスの「ローカライズ」を行う場合、きわめて大量の文書を翻訳しなければならず、コスト効率の良い翻訳の必要性がある。商業的または技術的文書を翻訳する必要性は、翻訳市場が大きくてますます成長する分野であることを意味している。このような文書の例として、契約書、取扱説明書、申し込み用紙、およびコンピュータ・ソフトウェアが挙げられる。ビジネスの一般的課程では、法律文から事務連絡用メモまで広範な話題に関して、1ページから5ページのテキストから構成される、数多くのちょっとした翻訳業務が発生する。多くの場合、商業的および技術的文書は詳細かつ堅苦しいため、正確な翻訳は継続して需要がある。世界を通じて、多言語文化および多国間貿易により翻訳サービスの需要はますます増大する。

10

【 0 0 7 3 】

翻訳作業を外部委託する場合、企業は翻訳者の電話番号および住所を探し出すために、職業別電話帳などの情報源を使って調べなければならない一旦、翻訳者が見つければ、翻訳サンプルを要求するためまたは翻訳サービスに対する見積りを取るために、企業は書簡または電話のいずれかによって連絡を取る必要がある。翻訳者の能力を判断するためには調査が行われる必要がある。翻訳者が最初の単語の翻訳に取りかかるまでには、実質的に付加的な業務が必要とされる。

20

【 0 0 7 4 】

時間と努力を抑えるために、翻訳を必要とする文書は、翻訳を行うために雇用した翻訳請負業者の集団を擁している翻訳会社に外部委託されてきた。この方法は時間および努力を節約するが、中間業者が入り、自由市場での翻訳価格の競争ができないために翻訳コストは上昇する。また、この方法は、翻訳会社の接触、住所、および文書の物理的交換によって制限される。

【 0 0 7 5 】

以下に示すのは、本ワークフロー管理システムが文書翻訳に対してどのように働くかを示す一例である。発注者または組織は、対象言語に翻訳する必要のある文書を有している。発注者は、情報センターによって設けられる <http://www.XXXXX.com> のようなウェブサイトにつながっている。ワークフロー管理システムを最初に使用する場合、発注者または組織は、オンラインの発注者登録フォームをダウンロードし、会社名、交渉担当者名 9 0 2、住所 9 0 8 および住所 9 1 2、e-mail アドレス 9 1 4、電話番号 9 1 6、電子商取引の支払方法 9 1 8 などの要求された情報を記入することによって情報センターに登録を行う。一旦、発注者が登録されると、翻訳する必要のある文書を解説し分類する、オンライン・フォームである新しいプロジェクト要求フォーム（図 3）に記入することができる。オンライン・フォームは、特定の基準（例えば、対象言語 3 0 6 および対象言語 3 3 2、ソース言語 3 0 4 およびソース言語 3 3 0、テキストが属する主題またはジャンル 3 0 8 およびテキストが属する主題またはジャンル 3 3 4、プロジェクトの納期、プロジェクトの落札方法 3 2 2、プロジェクトの落札方法 3 2 4、プロジェクトの落札方法 3 2 6、プロジェクトの落札方法 3 4 6、プロジェクトの落札方法 3 4 8、プロジェクトの落札方法 3 5 0）を要求する。ボタン 3 2 8 を起動させることによって、このフォームは翻訳される実際の文書と共に、情報センターに自動的に送信（アップロード）される。もちろん、発注者は情報センターに見積り依頼を提出することもできる。

30

40

【 0 0 7 6 】

一旦、プロジェクト情報が情報センターにアップロードされると、前翻訳情報すなわち実行パラメータを生成するように、これまでのプロジェクト（翻訳）の実行において作成された既にある翻訳単位を再利用することによってプロジェクトのどれぐらいの部分が完了されるかを決定するために、実行データベースがチェックされる。既に翻訳された作業を再翻訳する必要がないため、この特徴は翻訳の一貫性を提供し、誤りを低減する。

【 0 0 7 7 】

50

図16に示したように、プロジェクトはオンライン入札のために、前翻訳情報と共に公開されたプロジェクトのプール(pool)に登録される。図16を参照すると、プロジェクトTZ001はドイツ語に翻訳を必要とする英語で書かれた法律文書である。TZ001は例えば、4,221個の翻訳単位を有しており、そのうち482個の翻訳単位が実行データベースからの関連するリソースを用いて再利用される。情報センターまたは入札管理モジュールは、発注者の入札基準にマッチする資格を有する翻訳者(オペレータ)に、翻訳プロジェクトの入札が利用可能であることを通知することができる(図5)。図19に示したように、オペレータは発注者が提供した情報を見たり、またはプレビューすることができ、また、翻訳プロジェクトを完了するためにオンラインで入札を行うことが可能である(図4(B))。まずオペレータは、発注者と同様の方法で情報センターに登録する。但し、オペレータが、明細書、ソース言語、対象言語、発注者のエリアおよび住居のある国などの情報を毎月受け取ることを望まない場合には、オペレータはクレジットカード番号などの情報を入力する。オペレータはまた資格の証明を提出することも要求される。この情報は本システムによってアップロードすることができ、信用チェック・モジュールによる評価のために情報センターに送信される。

【0078】

発注者の入札基準設定に依存しながら、プロジェクトは入札管理モジュールによって自動的に落札されるか、発注者は落札の選択をマニュアルで行うために、付け値または付け値のサブセットをプレビューすることができる。

【0079】

発注者が翻訳者に関する情報をプレビューすることができるように、情報センターは信用チェックサービスを提供することができる。発注者は、そのような情報を翻訳者が既に行った各業績に対する他の発注者の評価として検討することができ、翻訳者に関する全般的な評価が保存される。

【0080】

翻訳者が一旦所定のプロジェクトに選ばれたら、その翻訳者は文書を前翻訳するために、翻訳データベースに保存された前翻訳を使用することができる。再利用された翻訳単位に対するロイヤルティのクレジットをソース翻訳者に配分するために、ロイヤルティ追跡モジュールが使用される。新しいプロジェクトの翻訳者が既存の翻訳単位を使用する場合、再利用される翻訳単位の作成者は、翻訳単位が使用されたことに対してクレジットまたはロイヤルティを受け取ることができる。翻訳者が作業を終えたら、翻訳者は翻訳済みのファイルをプロジェクト調整モジュールに送信(供給)し、次に情報センターは作業が完了したことを発注者に通知する。図17に示したように、発注者は支払いを承認する前に翻訳されたものをプレビューすることができる。発注者がその翻訳文に満足しない場合、翻訳を修正するように要求することができる。プロジェクト調整モジュールまたはロイヤルティ追跡モジュールは、翻訳者(オペレータ)および組織(発注者)の両方に関する財務履歴を保存することができ、元の翻訳作業だけでなく保存された翻訳単位の再利用によって発生するロイヤルティに対する支払いも定期的に翻訳者に行うことができる。発注者はクレジットカードまたは電子マネーによる支払いのいずれかによって情報センターまたは金融機関に直接インボイスを支払う。

【0081】

図4(A)、図4(B)、図4(C)、図5および図15、図16、図17、図18、図19、図20は、ワークフロー管理ユーザに情報を提供することができる、翻訳実施形態の種々の画面を示している。図4(A)は、オペレータが図4(B)に示したオファー・フォームを提出する前に検討することができる、プロジェクトTZ001に関するプロジェクト解説画面を示している。図4(A)の画面は、ファイル名402、ソース言語404、対象言語406、主題408、単語の総数410、翻訳単位の総数412、再利用可能な翻訳単位の数414、新しい単語の数416、入札終了418、納期420、最高価格422、落札基準424、落札決定426、落札の最大数428、状況430および最高付け値432などの情報を提供することができる。ユーザは図4(C)に示した処理履

10

20

30

40

50

履歴画面にアクセスすることによってプロジェクトの活動を検討することができる。この画面は、活動またはアクションに関する情報、すなわち誰がアクションを実行したかおよびそのアクションはいつ行われたかについての情報を提供する。

【 0 0 8 2 】

図 5 は翻訳者用ホームページを示しており、翻訳者はここで、翻訳されるプロジェクトの数 5 0 2、翻訳者が割り当てられるプロジェクトの数 5 0 4、入札案内の数 5 0 6、プロジェクトを完了するために翻訳者が使用した再利用できる翻訳単位の総数 5 0 8、翻訳者が所有している翻訳単位の総数 5 1 0、他の翻訳者によって再利用される翻訳者が所有する翻訳単位の数 5 1 2、再利用された翻訳単位に対して獲得されたロイヤルティの総額 5 1 4、オペレータの経常収支 5 1 6、および翻訳者が情報センターに最後にアクセスして

10

【 0 0 8 3 】

図 1 5 は発注者用のホームページの画面を示しており、発注者はここで、翻訳されるプロジェクトの数 1 5 0 2、進行中のプロジェクトの数 1 5 0 4、落札が待たれるプロジェクトの数 1 5 0 6、発注者のプロジェクトにおける翻訳単位の総数 1 5 0 8、既に再利用された翻訳単位の総数 1 5 1 0、再利用された単語数、1 単語当たりの平均価格における概算割引率 1 5 1 4、発注者の経常収支 1 5 1 6、終了したプロジェクトの数およびダウンロード待ちのプロジェクトの数 1 5 1 8 などの情報にアクセスできる。

【 0 0 8 4 】

図 1 6 は翻訳入札プールを示している。現在入札が行われているプロジェクトは、この画面を使用してユーザによってプレビューされ、この画面は、プロジェクト ID 1 6 0 2、ソース言語 1 6 0 4、対象言語 1 6 0 6、主題 1 6 0 8、単語の総数 1 6 1 0、翻訳単位の総数 1 6 1 2、再利用可能な翻訳単位の数 1 6 1 4、入札終了日 1 6 1 6、納期 1 6 1 8、落札基準 1 6 2 0、最高付け値 1 6 2 2、状況 1 6 2 4 などの情報を提供する。オペレータはプロジェクト ID をクリックすれば、付け値を出す前に文書の選択をプレビューすることができる。

20

【 0 0 8 5 】

図 1 7 および図 1 8 (A) は、進行中のプロジェクトに関してユーザに提供される画面を示している。これらの画面は、翻訳者 / 発注者の名前、プロジェクト ID、ファイル名、入札開始日、落札日、納期、受け渡しの周期、新しいプロジェクト、状況、次のアクションなどの情報をユーザに提供する。受け渡しなどの予定の時間がくれば、発注者は翻訳者がプロジェクトに割り当てられたを知ることができる。翻訳者は次のアクションフィールドのダウンロードをクリックすることによりプロジェクトを受け取ることができる (画面は「落札」から「翻訳」に変わり、次に「ダウンロード」から「アップロード」に変わる)。翻訳者は必要があればプロジェクト ID をクリックすることによって、再度、プロジェクトをダウンロードすることができる。オペレータは翻訳を完了したら、文書を情報センターに返送するために次の画面でアップロードをクリックする。システムがアップロードが成功したことを確認後、発注者は通知を受けて翻訳文を受け取る。次に、翻訳者はサービスに対する料金を受け取ることができる。画面の状態は「支払い完了」に移行する。プロジェクトの詳細が「プロジェクト履歴画面」に表示され、この画面は、発注者

30

40

【 0 0 8 6 】

一旦、翻訳プロジェクトが完了したら、発注者は次画面の「受理」をクリックすることによって受け取りを確認する (図 1 7)。画面は「アップロード完了」から「支払い完了」に移行する。翻訳文から無作為に抽出して読んだ後、発注者がそのプロジェクトを承認しない場合、発注者には次の 3 つの選択肢がある。

【 0 0 8 7 】

1. 発注者はその翻訳文を完全に拒否することができる。この場合、翻訳者は元の料金の 5 0 % だけを受け取ることができる。信用モジュールには通知が行われ、発注者はその翻

50

訳文を使用することはできない。

【 0 0 8 8 】

2. 発注者は、その翻訳の拒絶理由を述べると共に簡単な修正を要求することができ、新しい納期を設定することができる。また、翻訳料の値引きを求めることもできる。新たな翻訳作業が開始される。翻訳者は修正要求を拒絶することができる。翻訳者および発注者が3回の修正作業をした後、合意に達しない場合、このシステムはプロジェクトを終了させるか、料金が半分支払われたものとして記録するか、あるいはその金額が高額なために問題となる場合には、仲裁委員会に提訴することもできる。

【 0 0 8 9 】

3. ビジネス上きわめて大きな問題の場合、発注者は直ちに仲裁委員を招聘することができる。次に仲裁委員は両サイドから事情を聞いて救済策を示す。

10

【 0 0 9 0 】

本発明の別の適用は翻訳（プロジェクト）以外の他の作業割当である。発注者は、特許検索、医学的または法律的検索など特定の話題に関連して行われる調査を必要とすることもある。実行データベースが検索され、すでに保存されたリソースが新しいプロジェクトとマッチしない場合、プロジェクト調整モジュールおよび/または入札管理モジュールは、入札要求を出すことによって、または入札案内を資格のある検索者（オペレータ）に送ることによって入札プロセスを開始する。落札者（オペレータ）は検索を行い、検索の結果をプロジェクト調整モジュールに送信することができる。続いて、プロジェクト調整モジュールはその結果を発注者に送信し、その結果を実行データベースに保存することができる。次に同様の要求が同じ（または同様の）主題に関して検索プロジェクトまたは作業割付に対してなされた場合、プロジェクト調整モジュールは、既存する結果がないかどうか実行データベースを検索することができる。結果が発注者に直接送られることができるか、既存の結果がこれからの検索の基礎を成すことができるかのいずれかの場合には、これら既存の結果は発注者が求めているものとまったく同じであってよい。元の研究者は自身の作業に対する支払いを受け取ることができる。

20

【 0 0 9 1 】

保存された結果を更新する必要がある場合、プロジェクト調整モジュールは発注者およびオペレータに検索プロジェクトの「どれぐらいの部分」がすでに完了済みの研究（リソース）を再利用することによって完了されるかに関する評価情報を提供することができる。

30

【 0 0 9 2 】

アクティブページはサーバ上で実行され簡単なHTMLとしてクライアント・コンピュータに送信されるために、ネット・スケープ・ナビゲータおよびマイクロソフト・インターネット・エクスプローラの両方以外に他のブラウザを用いればページを見ることができる。

【 0 0 9 3 】

本発明を好適な実施形態を参照して具体的に示し、説明してきたが、形式および詳細に関する前記および他の変更が本発明の範囲から逸脱することなく行われ得ることは、当業者であれば理解されよう。

【 図面の簡単な説明 】

40

【 図 1 】 本発明に係るワークフロー管理システムの一実施形態を示す図。

【 図 2 】 本発明に係るワークフロー管理システムの別の実施形態を示す図。

【 図 3 】 本発明の別の実施形態を示すもので、新しい計画要求フォームの態様を示す図。

。

【 図 4 】 (A) , (B) , (C) は本発明の別の実施形態を示すもので、入札態様、入札プレビュー情報フォームおよび処理履歴をそれぞれ示す図。

【 図 5 】 本発明の別の実施形態を示すもので、翻訳者用ホームページの態様を示す図。

【 図 6 】 本発明に係るワークフロー管理システムの別の実施形態を示すフローチャート図。

【 図 7 】 本発明の別の実施形態を示すもので、オペレータの登録の態様を示す図。

50

【図 8】 本発明に係るワークフロー管理システムの別の実施形態を示すフローチャート図。

【図 9】 本発明の別の実施形態を示すもので発注者の登録態様を示す図。

【図 10】 (A), (B) は本発明に係るワークフロー管理システムの別の実施形態を示す図。

【図 11】 本発明の別の実施形態を示すもので支払明細作成フォームの態様を示す図。

【図 12】 本発明に係るワークフロー管理システムの別の実施形態を示すフローチャート図。

【図 13】 本発明の別の実施形態を示すもので翻訳者グループのリスト表を示す図。

【図 14】 本発明に係るワークフロー管理システムの別の実施形態を示すフローチャート図。

【図 15】 本発明の別の実施形態を示すもので、翻訳者用ホームページ欄を示す図。

【図 16】 本発明の別の実施形態を示すもので、翻訳者の入札プール欄を示す図。

【図 17】 本発明の別の実施形態を示すもので、進行中のプロジェクト(発注者の画面)を示す図。

【図 18】 (A) および (B) は本発明の別の実施形態を示すもので、進行中のプロジェクト(オペレータの画面)をそれぞれ示す図。

【図 19】 本発明の別の実施形態を示すもので、翻訳者用入札画面を示す図。

【図 20】 本発明の別の実施形態を示すもので、翻訳者からの申し込みの画面を示す図。

【図 21】 本発明の別の実施形態を示すもので、翻訳者からの申し込みの画面を示す図。

【図 22】 本発明の別の実施形態を示すもので、プロジェクトの履歴を示す図。

【符号の説明】

18 コンピュータ

24 ネットワーク・コネクション

27 オンライン・テンプレート

30 リモート・コンピュータ

32 A, 32 B フォーム

38 ユーザ

44 氏名

46 金融機関の口座番号

48 金融機関の口座の種類

52 ボタン

60 オプショナル・データベース

101 コンピュータ

103 A ネットワーク・コネクション

103 B ネットワーク・コネクション

103 C ネットワーク・コネクション

105 入力インタフェース

107 入力インタフェース

1132 支払明細作成フォーム (Payment Account Creation Form)

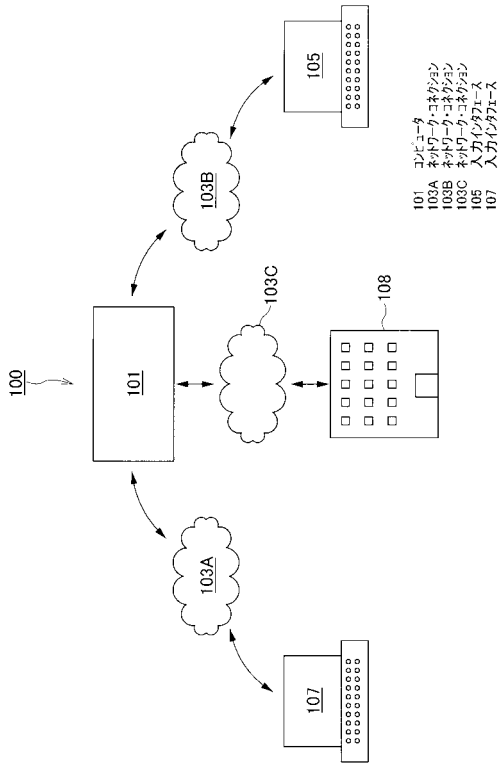
10

20

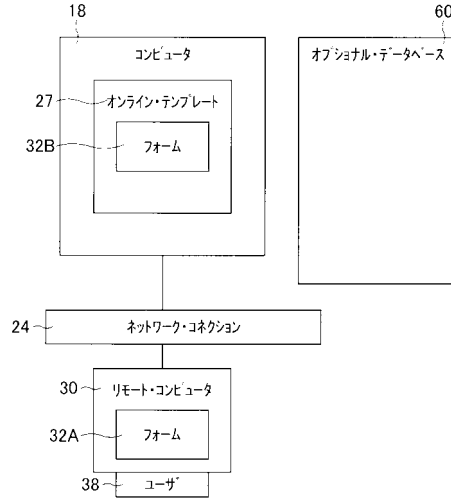
30

40

【図1】



【図2】



【図3】

新しい計画要求フォーム

PROJECT SPECIFICS	
302 FILENAME	
304 SOURCE LANGUAGE	ENGLISH ▾
306 TARGET LANGUAGE	GERMAN ▾
308 SUBJECT MATTER	AUTOMOTIVE ▾
310 INVITE TRANSLATORS	
312 COUNTRY OF RESIDENCE	USA ▾
314 TRANSLATOR GROUP	--- ALL --- ▾ TRANSLATOR GROUPS
BIDDING PROCESS	
316 MAXIMUM PRICE	300 \$
320 MAXIMUM # OF BIDDERS	NO LIMIT ▾
322 AWARD METHOD	<input checked="" type="radio"/> AUTOMATIC <input type="radio"/> MANUAL
324 AWARD DATE	DATE: _____ TIME: _____
326 AWARD PREFERENCE	<input checked="" type="radio"/> BEST PRICE <input type="radio"/> EARLIEST DELIVERY DATE <input type="radio"/> FIRST BIDDER
328	UPLOAD FILE AND START PROJECT

【図4】

プロジェクト T Z 0 0 1 に対する入札

FILE NAME	402	SOURCE LANGUAGE	404	TARGET LANGUAGE	406	SUBJECT MATTER	408
CONTRACT DOC	ENGLISH		GERMAN	LEGAL			
TOTAL # OF WORDS	410	TOTAL # TUs	412	# OF RECYCLED TUs	414	# OF NEW WORDS	416
32,336	4,211	482	27,259				
END OF BIDDING	418	DATE OF DELIVERY	420	MAXIMUM PRICE	422	AWARD CRITERION	424
25/1/99	28/2/99	3,500 \$	PRICE				
AWARD DECISION	426	MAXIMUM # OF BIDS	428	STATUS	430	BEST OFFER	432
AUTOMATIC	NO LIMIT	OPEN - 3 BIDS	3000 \$				

(A)

入札レビュー情報フォーム

DELIVERY DATE	MY BEST PRICE	ESTIMATED # OF TUs RECYCLED	ESTIMATED ROYALTIES TO PAY TO OTHER TRANSLATORS	COMMISSION TO TRANSLATION ZONE	10% ESTIMATED INCOME
2/7/2/99	2,900 \$	482	48.20 \$	290.00 \$	2,561.80 \$

(B)

処理履歴

DATE	TIME	ACTOR	ACTIVITY/ACTION	DATA
2/1/1/99	14:01	TRADOS GmbH	UPLOAD	CONTRACT.DOC
2/1/1/99	14:01	CLEARINGHOUSE	CREDIT CHECK MAX PRICE	3,500
2/1/1/99	14:02	TRADOS GmbH	AUTHORIZES 50% DOWN PAYMENT	1,750
2/1/1/99	14:02	CLEARINGHOUSE	PRE-TRANSLATE	482 TUs
2/1/1/99	14:05	CLEARINGHOUSE	START BIDDING	20 INVITES
22/1/99	10:23	TRACY TRANSLATOR	SUBMITS BID	2,900
25/1/99	12:00	CLEARINGHOUSE	AWARDS	PRICE
11/2/99	9:31	TRACY TRANSLATOR	UPLOADS	CONTRACT-D.DOC
11/2/99	9:32	CLEARINGHOUSE	NOTIFIED	TRADOS GmbH
11/2/99	14:12	TRADOS GmbH	PREVIEWS	CONTRACT-D.DOC
11/2/99	14:18	TRADOS GmbH	DOWNLOADS	CONTRACT-D.DOC
11/2/99	14:20	CLEARINGHOUSE	UPDATES TM	1400 NEW UNITS
11/2/99	14:22	CLEARINGHOUSE	CREDITS ROYALTIES	392 OLD UNITS
11/2/99	14:36	CLEARINGHOUSE	CREDITS TO TRACY TRANSLATOR	\$39.20 \$2,570

(C)

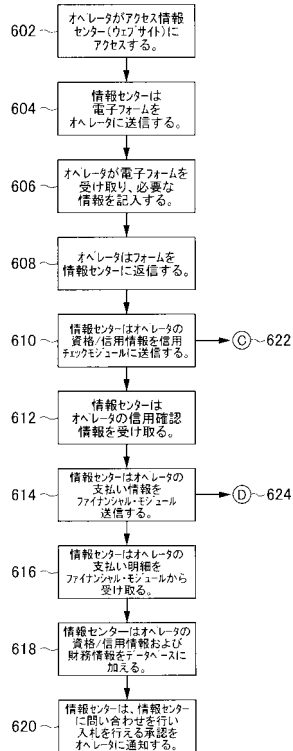
【 図 5 】

翻訳者用ホームページ

またの来場ありがとうございます。前回来場いただいたから多様な状態が続いています。入札モジュールで現在オークション中で、入札を受けつつあるプロジェクトが6件あります。現在進行中のプロジェクトを見逃さないでください。最初のプロジェクトの入札起源地は1月25日です。また、現在ダウンロード待ちの発注済みプロジェクトが新たに2件あります。

502	NUMBER OF PROJECTS YOU HAVE TRANSLATED	213
504	NUMBER OF PROJECTS IN PROGRESS (THAT YOU ARE CURRENTLY WORKING ON)	3
506	NUMBER OF PROJECTS IN BIDDING (YOU ARE INVITED TO SUBMIT AN OFFER)	6
508	TOTAL AMOUNT OF TRANSLATION UNITS RECYCLED IN YOUR PROJECTS	701
510	TOTAL NUMBER OF TRANSLATION UNITS YOU OWN	331
512	NUMBER OF YOUR TRANSLATION UNITS REUSED OTHER TRANSLATORS	1200
514	TOTAL AMOUNT EARNED ON ROYALTIES FROM YOUR TRANSLATION UNITS	\$800.00
516	YOUR CURRENT BALANCE (WHAT THE CLEARINGHOUSE OWES YOU)	\$2,400
520	NUMBER OF PROJECTS AWARDED TO YOU SINCE LAST TIME YOU VISITED	2

【 図 6 】



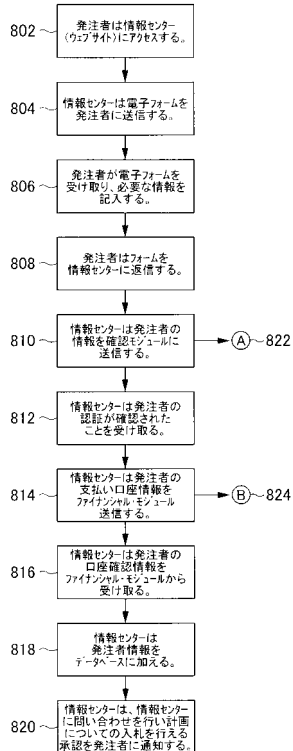
【 図 7 】

オペレータの登録

702	COMPANY NAME	
704	LAST NAME	
706	FIRST NAME	
708	STREET	
710	CITY	
712	STATE, ZIP	
714	EMAIL	
716	TELEPHONE	
718	CREDIT CARD (IF YOU WANT TO BE CREDITED INSTEAD OF RECEIVING MONTHLY CHECKS)	<input checked="" type="radio"/> AMEX <input type="radio"/> VISA <input type="radio"/> MASTER NUMBER... <input type="text"/> EXPIRATION <input type="text"/>
720	SOURCE LANGUAGES	ENGLISH <input type="checkbox"/> GERMAN <input type="checkbox"/> FRENCH <input type="checkbox"/> SPANISH <input type="checkbox"/> PORTUGUESE <input type="checkbox"/>
722	TARGET LANGUAGES	ENGLISH <input type="checkbox"/> ENGLISH <input type="checkbox"/>
724	SUBJECT AREAS	AUTOMOTIVE <input type="checkbox"/> AEROSPACE <input type="checkbox"/> ENGINEERING <input type="checkbox"/> COMPUTER <input type="checkbox"/> SOFTWARE <input type="checkbox"/>
726	COUNTRY OF RESIDENCE	USA

728 REGISTER

【 図 8 】

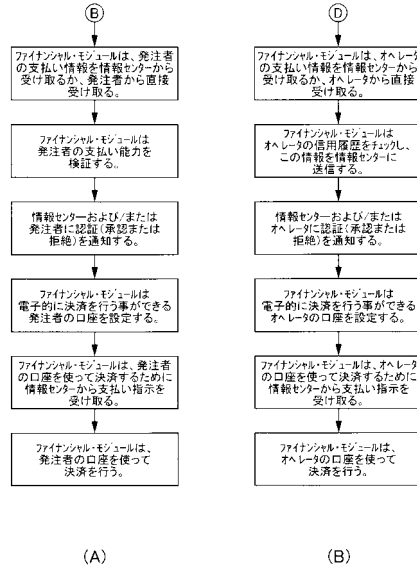


【 図 9 】

発注者の登録

902	COMPANY NAME	<input type="text"/>	
904	LAST NAME	<input type="text"/>	
906	FIRST NAME	<input type="text"/>	
908	STREET	<input type="text"/>	
910	CITY	<input type="text"/>	
912	STATE, ZIP	<input type="text"/>	
914	EMAIL	<input type="text"/>	
916	TELEPHONE	<input type="text"/>	
918	CREDIT CARD	<input type="radio"/> AMEX <input type="radio"/> VISA <input type="radio"/> MASTER NUMBER... <input type="text"/> EXPIRATION <input type="text"/>	930
928	REGISTER		

【 図 10 】

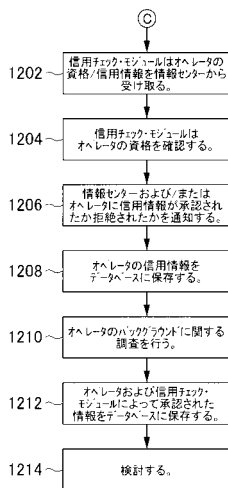


【 図 11 】

1132 支払明細作成フォーム

44	氏名:	<input type="text" value="JOHN SMITH"/>	<input type="text" value="54"/>	<input type="text" value="52"/>
46	金融機関の口座番号	<input type="text" value="5423 6789 8976 4543"/>	<input type="text" value="ホタン"/>	
48	金融機関の口座の種類	<input type="text" value="CREDIT CARD"/>		

【 図 12 】



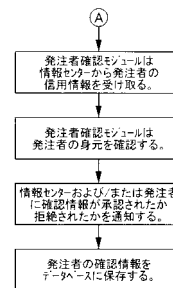
【 図 13 】

翻訳者グループ

SOURCE LANGUAGE	TARGET LANGUAGE	SUBJECT MATTER
ENGLISH	ENGLISH	AEROSPACE
INCLUDE	NAME	# WORDS
<input type="checkbox"/>	MAYER, CHRIS	72,121
<input type="checkbox"/>	MILLER, BEATRICE	321,214
<input type="checkbox"/>	MUELLER, HANS	2,301
<input type="checkbox"/>	NERUDA, PABLO	1,209,201
<input type="checkbox"/>	SMITH, RON	2,210,298
<input type="checkbox"/>	SMITH, SUSAN	1,136,892

UPDATE USER-DEFINED

【 図 14 】



【 15】

翻訳者用ホームページ

またの来場ありがとうございます。前回来場いただいたことから多忙な状態が続いています。現在オークション中のプロジェクトが...

Table with 2 columns: ID and Description. Rows include project counts, translation units, and estimated savings.

【 16】

翻訳者の入札プール

ここでは現在入札受付中のすべてのプロジェクトを見たい時は、「プロジェクト名」をクリックしてください。

Table with 14 columns: Project ID, Source Language, Target Language, Subject Matter, Total # of Words, # of TUs Recycled, # of TUs, End of Bidding Date, Award Date, Award Criterion, Price, Status.

【 17】

進行中のプロジェクト(発注者の画面)

Table with 8 columns: Translators Name, Project ID, File Name, Start Bidding Date, Award Date, Delivery Date, Cycle, Next Action.

プロジェクトが1つ終了しました。次の画面の「受理」をクリックして認証を行って下さい。

- 1. 発注者はその翻訳の拒絶理由を述べると共に簡単な修正を要求することができます。... 3. ビジネス上きわめて大きな問題の場合、発注者は直ちに仲裁委員を招聘することができます。

【 18】

進行中のプロジェクト(オペレータの画面)

Table with 10 columns: Subject's Name, Project ID, File Name, Start Bidding Date, Award Date, Delivery Date, Cycle, New Delivery, Status, Next Action.

- 翻訳が終わったら、「アップロード」をクリックしてください。アップロードの成功をシステムが確認したら、翻訳文を受け取り、承認したことを発注者に通知します。... 3. ビジネス上きわめて大きな問題の場合、発注者は直ちに仲裁委員を招聘することができます。

(A)

進行中のプロジェクト(オペレータの画面)

Table with 10 columns: Subject's Name, Project ID, File Name, Start Bidding Date, Award Date, Delivery Date, Cycle, New Delivery, Status, Next Action.

- 落ちた新しい翻訳プロジェクトが2件あります。次の画面の「ダウンロード」をクリックして認証を行って下さい。... 3. ビジネス上きわめて大きな問題の場合、発注者は直ちに仲裁委員を招聘することができます。

(B)

【 図 1 9 】

翻訳者用入札画面

申し込みをする前に、内容だけでなく、文章のワード数、翻訳メモリなどを使って前翻訳ができる分節量などの量的な情報のレビュー画面も見ることができます。 「プロジェクト名」をクリックして文書の内容をレビューして下さい。

PROJECT ID	SOURCE LANGUAGE	TARGET LANGUAGE	SUBJECT MATTER	TOTAL # OF WORDS	# OF TUS	# OF TUS RECYCLED	END OF BIDDING	DELIVERY DATE	AWARD CRITERION	BEST OFFER	STATUS
TZ001	ENGLISH	GERMAN	LEGAL	32,336	4,211	482	25/199	28/299	PRICE	3,000	OPEN 3
TZ002	ENGLISH	GERMAN	OFFICE	3,602	412	46	21/199	8/299	DATE	2,111/99	OPEN 7
TZ009	FRENCH	GERMAN	LEGAL	2,136	271	42	22/199	28/299	FIRST	---	OPEN
TZ021	ENGLISH	GERMAN	COMPUTER	320,443	40,421	8,231	25/199	15/459	MANUAL PRICE	28,000	OPEN 5
TZ062	ENGLISH	GERMAN	OFFICE	662	70	20	21/199	23/199	FIRST	23/199	OPEN 7

【 図 2 0 】

翻訳者からのTZ101に対する申し込み

ここでは、これまで行われた申し込みを見ることができます。 TZ101は「料金」による「自動落札」で申し込まれましたので、マニュアル形式で落札することはできません。

PROJECT ID	SOURCE LANGUAGE	TARGET LANGUAGE	SUBJECT MATTER	TOTAL # OF WORDS	# OF TUS	# OF TUS RECYCLED	END OF BIDDING	DELIVERY DATE	AWARD CRITERION	BEST OFFER
TZ001-01	ENGLISH	GERMAN	LEGAL	32,336	4,211	482	25/199	15/399	PRICE	3,500
TZ001-02	ENGLISH	GERMAN	LEGAL	32,336	4,211	482	25/199	28/299	PRICE	3,000
TZ001-03	ENGLISH	GERMAN	LEGAL	32,336	4,211	482	25/199	15/499	PRICE	3,000

【 図 2 1 】

翻訳者からのTZ101に対する申し込み

ここでは、これまで行われた申し込みを見ることができます。 TZ101は「料金」による「マニュアル落札」で申し込まれましたので、マニュアル形式で特定の入札者に落札することはできません。

PROJECT ID	SOURCE LANGUAGE	TARGET LANGUAGE	SUBJECT MATTER	TOTAL # OF WORDS	# OF TUS	# OF TUS RECYCLED	END OF BIDDING	DELIVERY DATE	AWARD CRITERION	BEST OFFER
TZ021-01	ENGLISH	GERMAN	COMPUTER	320,443	40,421	8,231	25/199	15/499	MANUAL PRICE	31,000
TZ021-02	ENGLISH	GERMAN	COMPUTER	320,443	40,421	8,231	25/199	22/499	MANUAL PRICE	30,500
TZ021-03	ENGLISH	GERMAN	COMPUTER	320,443	40,421	8,231	25/199	22/499	MANUAL PRICE	29,800
TZ021-04	ENGLISH	GERMAN	COMPUTER	320,443	40,421	8,231	25/199	24/499	MANUAL PRICE	29,000
TZ021-05	ENGLISH	GERMAN	COMPUTER	320,443	40,421	8,231	25/199	30/499	MANUAL PRICE	28,000

【 図 2 2 】

プロジェクトの履歴

SUBJECT'S NAME	PROJECT ID	FILE NAME	START BIDDING	AWARD DATE	DELIVERY DATE	DELIVERY CYCLE	NEW DELIVERY	STATUS	SERVICE CHARGE
TRADOS	TZ001	CONTRACT.DOC	21/0199	25/0199	11/299	1	--	PAID IN FULL	\$ 2,900
IBM	TZ002	3270INTRO.DOC	22/0199	26/0199	28/299	1	--	PAID IN FULL	\$ 700
SIEMENS	TZ005	REPORT.DOC	9/1299	12/1299	25/199	1	--	PAID 74%	\$ 740
GM	TZ021	REPAIR.DOC	23/299	23/299	18/199	2	28/199	REJECTED	\$ 300

フロントページの続き

(31)優先権主張番号 09/317,979

(32)優先日 平成11年5月25日(1999.5.25)

(33)優先権主張国 米国(US)

(72)発明者 フンメル, ヨーヒン

ドイツ国 D - 7 0 1 9 1 スタットガルト ビルケンバルトストラッセ 1 6 1

審査官 唐橋 拓史

(56)参考文献 特開平10-063747(JP,A)

特開平09-114907(JP,A)

国際公開第98/04061(WO,A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06Q 10/00-30/00

JSTPlus(JDreamII)

JST7580(JDreamII)

G-Search